

1. はじめに

平成2年度の道路交通センサス調査データによると、平日の近畿圏内の高速道路の乗用車利用は全体で148,249台で、そのうち60歳以上のドライバーは9,497台(6.4%)であった。平成4年の運転免許保有者の増加は、全体で2.6%であるのに対して、65歳以上の高齢者は10%と高い増加を示している。今後、高齢ドライバーの増加が予想されると同時に、高速道路を利用する高齢ドライバーの数も増えるものと思われ、高齢ドライバーにとって運転しやすい高速道路の整備条件を明らかにする必要性が高まってくると思われる。

そこで、本研究では、まず、高齢ドライバーが高速道路をどのように評価しているかを高速道路を運転する際の気持ちに注目して、探ってみた。また、交通状態(交通密度および貨物車混入率)を変えた写真を9枚提示し、運転してもよいかどうかの評定と順位付けをしてもらい、許容できる交通状態を探った。

2. 高齢ドライバーの高速道路に対する評価

2-1 調査の概要

運転免許を保有し、なおかつ、高速道路を運転した経験のある高齢者(60歳以上)を対象としたアンケート調査を行った。その結果、367件の有効回答数を得た。このうち、高速道路を運転する際の気持ちに関する質問において、運転したいと思うと答えた方が174名(47.4%)、できれば運転を避けたいと答えた方が170名(46.3%)、運転したくないと答えた方が14名(3.8%)、無回答が9名(2.5%)であった。以下の分析は、運転したいと思うグループと運転を避けたいと思うグループを対象に行った。

2-2 評価分析結果

評価項目として7要素26項目を選び、各評価項目を5段階評価してもらった。そして、各評価項目について評定平均値をとったものを図1に示す。図は、右側が良い評価、左側が悪い評価を示す。これを見ると、運転したいと思うグループと運転を避けたいと思うグループの間では、“料金が低い”、“標識が見にくい”の2つの項目以外において、有意水準5%で評価に差がみられた。有意な差がみられた項目全てにおいて、運転を避けたいと思うグループが運転したいと思うグループより悪い評価をしていることが分かる。

要素別にみると、他車との関係に含まれる項目において、両グループと

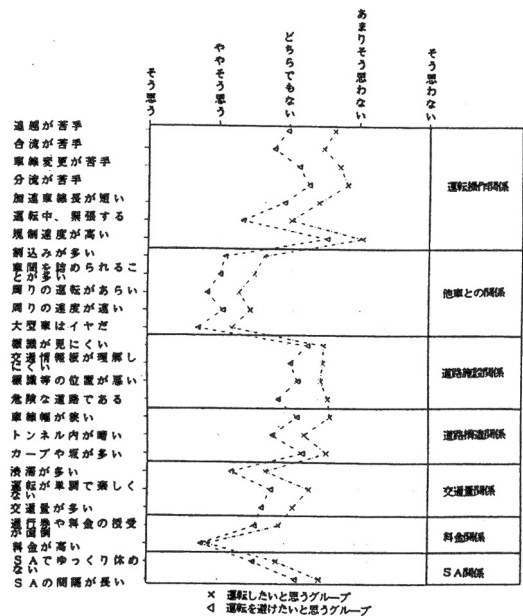


図1：各評価項目の評定平均値

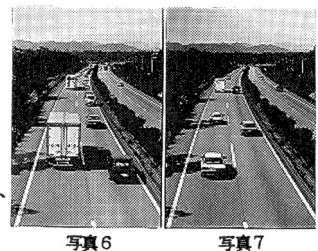


写真1：運転の許容性評価に用いた写真例

もかなり悪い評価を示していることが分かる。また、交通量関係、料金関係も評価が低いことが分かる。

3. 交通状態に対する評価

2. では、他車との関係や交通量関係といった要素において評価が低いことを示した。それでは、交通密度および貨物車混入率について、どれくらいの状態であれば高齢ドライバーに受け入れられるのかを、交通状態を変えた写真を用いて明らかにすることとした。用いた写真の一部を写真1に示す。

3-1 写真に対する順位付け

各人について得られた9枚の写真の順位データを用いて、一対比較法により運転してもよいと思う順位付けを行った。その結果を図2および3に示した。これらを見ると、良好な順位付けが行われたこと、また、写真で示した交通状態の違いも適切であることがうかがわれる。

3-2 交通状態に対する許容性

次に、各写真に対する許容性を示したものが図4および5である。これを見ると、運転してもよいという回答が5割を越えたものは、両グループとも写真3、5、7、9であり、これら4枚の写真はそれぞれのグループにおいて、運転してもよいと思う順位の上位4位を占めている。また、順位の低い4枚の写真1、4、6、8は、運転してもよいという回答率が極めて低くなっている。

3-3 交通状態に対する許容範囲

最後に、高齢ドライバーに受け入れられる交通状態を明らかにするために、横軸に交通密度、縦軸に貨物車混入率をとった座標平面上に、各写真をプロットしたものを図6および7に示す。これを見ると、運転してもよいとの回答が5割を超える写真の交通状態は、交通密度35台/km以下、貨物車混入率15%以下であることが分かる。

4. おわりに

今回の調査で、高齢ドライバーの高速道路に対する評価を明らかにし、さらに、交通状態についての運転許容範囲の存在を示した。今後、運転許容範囲について検討を深めるとともに、高齢ドライバー明示の効果を分析したいと考えている。最後に、本研究を進めるにあたり、大工大の上野精順先生ならびに兵庫県警交通研究所のご指導とご協力を頂いた。記して、感謝いたします。

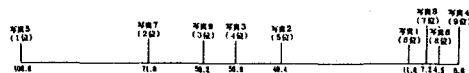


図2：一対比較法による順位（運転したいと思うグループ）

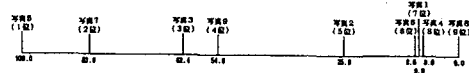


図3：一対比較法による順位（運転を避けたいと思うグループ）

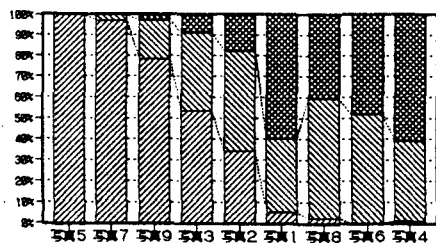


図4：各写真に対する許容性（運転したいと思うグループ）

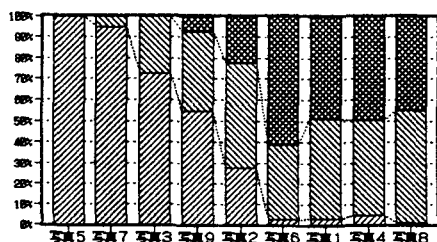


図5：各写真に対する許容性（運転を避けたいと思うグループ）

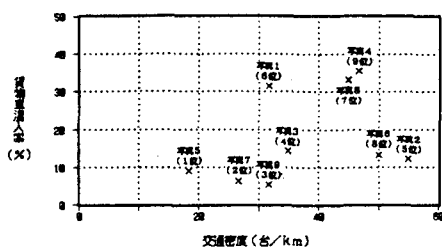


図6：交通状態に関する許容範囲（運転したいと思うグループ）

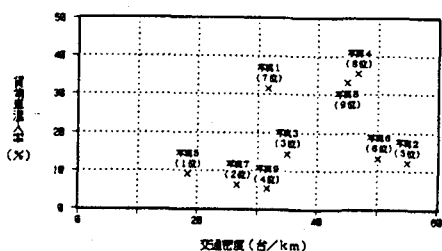


図7：交通状態に関する許容範囲（運転を避けたいと思うグループ）